2011年6月 ITU-R WP1B 会合報告書

資料２－３

【会合名称】 ITU-R WP1B会合

　　　　　　　（周波数管理手法に関する作業部会）

【会期】 2011年5月25日（水）～6月1日（水）

【開催場所】 スイス　ジュネーブITU本部

【概要】

本会合は、今研究期間における第6回会合である。35ヶ国の主管庁と7のROA (Recognized Operating Agencies)、5のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、4の地域または国際機関事務局より計118名が参加した。日本からは、岩元、中村、郷藤（総務省）、小坂、村上、岩間（NICT）、服部、高部（NTTｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾃｸﾉﾛｼﾞ）、木佐貫（新日本無線）、橋本（日本無線）、北沢（K&Aｽﾍﾟｸﾄﾗﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ）、立澤（国立天文台）、三浦（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾓﾊﾞｲﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ）、鈴木（三菱総合研究所）、森（ﾜｼﾝﾄﾝｺｱ）の15名が参加した。

日本、韓国、中国、カナダ、米国などからの寄与文書及び前回の議長報告と他グループからのリエゾン文書を含め合計37件の文書が入力され、17件の出力文書が作成された。

会議では、３つのWorking Group (WG)と1つのアドホックグループが設置され、下記の担当事項の審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。また、各案件の結果は2頁以降のとおりである。

表-1　会議の構成と各グループの担当事項

|  |
| --- |
| Working Party 1B 議長：Mr. S. Pastukh（RUS） |
| Working Group 1B-1 議長：Mr. F. M. Yurdal（ECO）  担当：ショートレンジデバイス等 |
| Working Group 1B-2 議長：Mr. Peter Anker（HOL）  担当：SDR&CRS、WRC-12議題1.19 |
| Working Group 1B-3 議長：Mr. N. Al Rashedi（UAE）  担当：決議951、WRC-12議題1.2 |
| Ad hoc Group 議長：Mr. Hasan Sharif（UAE）  担当：WP1Bが所掌する文書の確認 |

# Working Group 1B-1 (議長: Mr. F. Yurdal (ECO))

WG1B-1は、今回、新勧告ITU-R SM.[SRD]の作成、報告書ITU-R SM.2153-1の改定、新報告書ITU-R SM.[RFID]の作成および狭帯域家庭内無線ネットワークに関する事項を所掌した。特に狭帯域家庭内無線ネットワークについては、WP1BとWP1Aとのジョイント会合を開催し、議論を行った。

# ショートレンジデバイス(SRD)関係

## 1.1.1　報告書ITU-R SM.2153の改定

**入力文書：1B/279(ドイツ)**

**出力文書：1B/TEMP/77**

1. 主要結果

報告書ITU-R SM.2153-1の改定案が承認され、SG1会合に提出されることになった。

Doc.1B/TEMP/77 Draft Modification of Report ITU-R SM.2153 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication device

1. 審議概要

報告書SM.2153-1の改定について、ドイツから提案があった。（Doc. 1B/220(ドイツ)）内容としては、CEPTにおけるSRDの情報の更新を提案するもの。

修正提案はいずれも、CEPT地域の情報の追加や更新であったため、WG議長が提案内容を反映した文書を作成し、特段のコメントなく承認を行い作業を終了した。文書はSG1会合に上程されることになった。

## 1.1.2　新勧告案ITU-R SM.[SRD] Frequency Bands Regionally or Globally Identified for SRDs：SWG-1B-1 PDNR SRD (議長 Van Maanen Erik氏(蘭))

**入力文書：1B/268(WP1A)、274(仏)、275(中国)、280(WMO)、288(韓国)、294(バーレーン、UAE、サウジアラビア、レバノン)**

**出力文書：1B/TEMP/85**

1. 主要結果

DNR(勧告案)としてプレナリにて承認。文書はSG1会合に上程されることになった。

Doc.1B/TEMP/85: Draft　New　Rec.　ITU-R　SM.[SRD]　-　Frequency　bands　regionally　or　globally　identified　for short-range devices (SRDs)

1. 審議概要

本勧告草案は決議ITU-R. 54に基づく作業結果であり、勧告草案のAnnex 1に示される周波数帯をSRDのHarmonized bandとして考慮することを勧告している。

今回当該検討については、Van Maanen Erik氏を議長とし、SWGを設けて作業を行うこととした。作業においては、フランス(CEPT代表)の寄書を基に、各国の修正提案を統合した文書にて審議を行った。今回作業における大きな変更点として、今までは世界的、地域的に協調周波数帯の一覧を一つの表としていたものを、各々世界的および地域的に分け、二つの表としたことが挙げられ、これらを含め、新勧告案(DNR)としての体裁が整えられて承認された。

作業における、主な議論は以下の通りである。

* + 前回会合まで、全世界的、地域的に使用されている周波数帯の一覧が、一つの表にまとめられていたが、今回、SRDの使用周波数帯の実情を明確に表現すること、読者の理解のためにも、各々の表に分けるべきとの寄書による提案がCEPT、韓国、UAE他3国のアラブ諸国からされた。その方針について議長から参加者へ確認がされ、特段の反対者はいなかったため、全世界的(ANNEX 1)、地域的(ANNEX 2)に分けて記載を行う方針が決定された。
  + ANNEX 1に記載する表に記載するglobal harmonized basisの周波数帯については、RR No.5.138に規定されているISM bandのみが対象となるという考えが、韓国から表明され、カナダも賛同した。イタリアからは、現実的にはISM帯(例えば2.4GHz帯)などは、グローバルに使用がされていないことが説明され、また、UAEからは、SRD=ISMではないことから、一元的に、ISM帯のみとすることは適切でないことの意見があった。
  + ANNEX 1 global harmonized basis の対象となるレンジに関して、2 400-2 483.5 MHzについては、一部、SRDの使用を認めていない地域があることから、[ ]付きとされていた。Remarksの欄の説明には、すでに2 400-2 500 is a ISM bandとの記載をしていたところから、周波数レンジ自体を2 400-2 500MHzに修正して、[ ]を削除、Remarks欄には他の欄と同じくISM band (RR No. 5.150)とした。
  + ANNEX 2 地域的な協調周波数としての対象周波数レンジについては、UHF帯の、①312-315 MHz、②433.050-434.790 MHz、③862-875 MHz、④875-960 MHzが対象となっており、Region3の欄には、各々に”Not available in all country”との記載がされていた。日本からは、より正確な表現とするために、”all”を”some”に変更することを提案、議長からも、日本の懸念が理解され、上述の提案が反映された。また、ロシアからは、Harmonizeのための前向きな表現とするため、日本の提案にさらに”Not”を削除し、”available in some countries”として同意がされた。

## 1.1.3　Draft New Report ITU-R SM.[RFID]

**入力文書：1B/301(カナダ)**

**出力文書：1B/TEMP/83**

1. 主要結果

新報告書草案として以下の文書が1Bプレナリに諮られたが、SG1へ上程することは承認されず、ITU-Tや、その他の国際標準化機関(ISO/IEC)に情報の正確性を確かめるための協力を要請することとした。文書については、1B議長報告に添付し、次回会合へキャリーフォワードすることとなった。

Doc.TEMP/83 Draft New Report ITU-R SM.[RFID]: Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities

1. 審議概要

今回の主だった変更内容は、Doc. 1B/301(カナダ)によって、Document 1B/105（2009年9月WP1B会合にISO/IECから入力）に記載されている、RFIDに関する周波数のハーモナイズの可能性及び技術的条件の情報を追加することを提案するものである。

作業としては、上述ISO/IECの情報の追記を中心としたもので特段の議論は無く、作業は進捗した。

イタリアからは、ANNEX2、3のカナダおよびブラジルにおけるRFIDの技術基準情報に加えて、ANNEX4としてCEPT諸国の情報も追記する用意をしているため、併せて反映して欲しい旨、コメントがあり反映することとした。また、ANNEX 1の” RFIDの周波数協調の可能性”の記載について、中国からは、自国の技術的条件に変更があったとして、TABLE 5の“Bands and technical rules for RFID”の中国のデータを変更した。

以上、WG1B1としては文書を承認し、プレナリ会合へ上程したが、プレナリ会合においては、ITU-Tや、その他の国際標準化機関に情報の正確性を確かめるための協力を要請することとし、次回のSG1への上程は行わないこととした。結局、文書については、1B議長報告に添付し、次回会合へキャリーフォワードされることとなった。

## 1.1.4　Draft New Report ITU-R SM.[RFID]関連のリエゾン文書

**出力文書：Annex 11、12 to Document 1B/307-E**

1. 主要結果

ITU-T SG13,15および16、またISO/IECへの以下のLS文書が承認された。

Annex 11 to Doc.1B/307 Liaison statement to ITU-T Study Groups 13, 16 and 17 on a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID].

Annex 12 to Doc.1B/307 Liaison statement to ISO/IEC on a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID].

1. 審議概要

上述のDraft new Recommendation ITU-R SM.[SRD]については、1Bプレナリ会合において、ITU-T SGs 13, 15 ,16 およびISO/IEC に対して、情報の正確性を確かめるための協力を要請することとし、リエゾン文書(LS)を送付することとした。WG1B-1議長がLS返書案を作成し、審議された。

本LS文書は、WP1Bでは、RFIDに関する報告書について作成しているところであることを述べ、現状の報告書案を添付し、コメント等をWP1Bに連絡するように要請している。

## 1.1.5　JCA-IoTへのリエゾン文書

**入力文書：Document 1B/272-E**

**出力文書：Document 1B/TEMP/82**

1. 主要結果

ITU-T JCA-IoTへの以下の返書が承認された。

Doc.1B/TEMP/82 Reply liaison statement to ITU-T JCA-IoT on ITU-R involvement in JCA-IoT with regard to studies on Short Range Devices (SRDS) which include RFIDS.

1. 審議概要

TSAGで設立されたJCA-IoTへのITU-Rの協力を求めたリエゾン文書(LS)である。

本LS返書は、WP1Bにおいて検討を行っている、RFIDを含む、SRDに関して、情報交換等を行うというものである。WG1B-1議長がLS返書案を作成し、承認され本リエゾン文書は送付されることとなった。

## 1.1.6　 WP1AとのJoint 会合 (SRDに関連する事項)

**入力文書：**Document 1B/305-E

**出力文書：**Document 1B/TEMP/81Draft reply liaison statement from ITU-R Study Group 1 to ITU-T Study Group 15 regarding narrow-band wireless home networking (copy to ITU-R Working Parties 5A and 5D and ITU-T Study Group 5 for information).

Document 1B/TEMP/84 Terms of Reference for the Correspondence Group on Narrowband Wireless Home Networking (NWHN).

会合最終日の6月1日において、WP1BとWP1AのJoint Meetingが開催された。今回は、narrow-band wireless home networkingとdevelopment of a database for the protection of radio servicesの2点の事項が扱われた。SRDに関する事項としては、narrow-band wireless home networkingに関するものであり、今回、本事項については、ITU-RとTの検討対象の明確化や、検討の進め方等を検討し、また併せてITU-Rからの提案として、コレスポンデンスグループの設立と、ToRの作成を行った。

以上の検討結果をリエゾン返書にて送付し、当該返書にはコレスポンデンスグループのToRを添付することとした。

# Working Group 1B-2（議長:Mr. P. Anker（オランダ））

# ソフトウェア無線及びコグニティブ無線

**入力文書： 1B/267 Annex 5, 6 (前回会合のWP1B議長報告), 1B/269†(IMO), 1B/270 (WP6A), 1B/281 (フィンランド, フランス, イタリア, オランダ, ポーランド, スウェーデン), 1B/282 (アメリカ), 1B/295 (CBS), 1B/297 (カナダ), 1B/299 (日本), 1B/303 (IEEE)  
†:議題1.19に関連のある個所のみ**

**出力文書：1B/307 Annex x（WP1B議長報告）(Source: 1B/TEMP/70(ITU-R決議 SM.[CRS]のPDNR文章))**

1. 主要結果

WRC-12議題1.19(ソフトウェア無線(SDR)及びコグニティブ無線(CRS)に関するCPM文書にて、CRSのmethodの１つとして上げられているITU-R決議SM.[CRS]について合意が得られるよう審議を行ったが、単一の合意案を得ることができなかった。検討文案について、SG1に対して2か所の未確定部分(スクエアブラケット)を含む形で上程し、SG1での判断(RAに上程するか否か、さらに修正を行うか否か)を仰ぐこととした。

また、本ITU-R決議に関連しない寄書については、議長報告に記載のみされ、特に審議されなかった。

1. 審議概要

1) ITU-R決議 SM.[CRS]について

ITU-R決議 SM.[CRS]について、審議が行われた。前回会期にて作成したPDNR(1B/267 Annex 6)に対し、3件の寄書があった。欧州６カ国の共同提案である1B/281は未修正での採択を主張するもので、修正提案の寄書はカナダの1B/297と日本の1B/299の2件であった。加えて、SG1に対して寄書を提案していたロシア(1/148)も本ITU-R決議の一部修正を含むものであったため、WGでの合意を得て検討対象に含まれた。

各国(各組織)の審議中の意見としては、以下の5つがあった。

(1) RAに上程し、ITU-R決議とすべき: 欧州勢、カナダ、日本

(2) ITU-決議ではなく、新たなQuestionにすべき: ロシア、バチカン

(3) 十分なstudyを行ったので、本決議は不要: 米国

(4) CRSが対象とする帯域に制限を加えるべき: NABA、CBS (、ロシア)

(5) 決議を作成するべきか否かは中立だが、WRCの前にRAで判断を行うように見えないよう、決議1.19と別の判断として扱い、また双方の関係性を明確にすべき: イラン

なお、(3)の米国の反対は審議そのものに反対するほど強いものではなく、決議案の審議には協力的であった。

このように、各国・組織の決議そのものの扱いについては意見が分かれたままだが、議長より、1B/297及び1B/299を元にした合意案に向けた作業文章が示され、議論が進められた。

カナダ案(1B/297)が大幅な修正・削除を提案していたため、前回会合時のPDNR(1B/267 Annex6)からかなりの修正が行われた。また、ロシアが衛星やパッシブなサービスの帯域について追記を試み((4)の立ち位置に近い)たが、反対が多く採用されなかった。

議論の結果、特に(1)-(3)で意見の統一をはかりきれず、しかし(3)の米国を除く(1)及び(2)の立ち位置の各国は廃案にせず、SG1に判断を委ねることで合意した。

議論の終息後に、(5)の立ち位置のイランが、WRCの議題 1.19のoptionの1つだとrecognizingに記載を修正するなど、2か所に対してさらなる修正提案を行ったが、やはり合意せず、[]に入れ両論併記としてSG1に上程することで再度合意した。

2) その他の入力文章について

　ITU-R決議案の作成に対する提案を含まない寄書(1B/269、1B/270、1B/282、1B/295、1B/303の5件)については、情報提供を目的として寄書であるとして議長報告にnoteされることで合意した。

# Working Group 1B-3（議長: Mr. N. Al Rashedi (UAE)）

# 3.1 国際的な周波数管理枠組の見直し

**入力文書：1B/269(IMO), 283(USA), 296(CAN), 298(RUS), 300(F), 302(AsiaSat)**

**出力文書：1B/TEMP/86**

**(1)主要結果**

周波数管理枠組みの見直しについて各国からの寄与文書を元に議論がなされた。今回の会合では、これまでCPMレポート案の作成を優先とすることから審議が後回しにされてきた「WRC-12議題1.2に関連した国際周波数管理枠組の見直しに関する新研究レポート草案に向けた作業文書(Working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the International Regulatory Framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2)」について議論された。

前回会合にて本報告書の改訂に関するコレスポンデンス・グループ（議長：カナダ）が設置されていたが、実質的には本CGの活動期限とされていた2011年4月1日までに入力された寄書はなかったことが報告された。したがって本会合ではWP1Bに入力された6点の寄書をもとに審議が進められた。

本来、本文書は議題1.2に関するレポートと題されており、WRC前に完成させることを目指していたが、本会合に入力された寄書についての審議とそれに基づく文書の更改作業が一部完了しなかったことから、本文書はTEMP/86として出力され、あくまで作業文書としての位置づけで、来年のWP1B会合にて継続審議されることになった。なお、これによりWRC前に本報告書を完成できなかったことから、本報告書の主題は、「議題1.2に関する報告書」ではなく「決議951に関する報告書（working document towards a preliminary Draft New Report ITU-R SM.[Res. 951] Studies on Enhancing the International Regulatory Framework In Relation to Resolution 951 (Rev.WRC-07)）」と改められた。

**(2)審議概要**

　寄書の多くは、Editorialな修正を加えるものや、先に開催されたCPM会合の結果とりまとめられたCPM報告書の内容と、本報告書にあるMethodの記載について整合性をとるための修正などが中心であり、これらは特に議論なく承認された。その一方で、重点的な議論の対象となった点は以下の通りである。

1）　Method B2の決議案に関するロシアの提案

ロシアからの寄書（WP1B/298）では、地域区分、業務区分の観点から周波数の分配数が分析されており、この分析結果を踏まえると、Method　B2の決議案で目指されている「ワールドワイドな分配」や「できるだけ広義に定義される業務への分配」といった考え方は「可能な範囲で」実施することが適切である、と結論付けられていた。これに対しバチカンやルクセンブルグは支持を表明したが、周波数の分配数よりも分配量の観点から分析すべきであること、またCPM報告書は既に完成しているため、これに対する見解を報告書に記載することは不適切であることなどを理由に、スウェーデン、フランス、オランダが反対した。また、「ワールドワイドな分配は極めて困難である」との結論が出されているが、この記載は主観的であること、また、困難であっても取り組むべき事項もあるとの理由からドイツも反対した。このANNEX 3の結論の書きぶりについては合意に至れず、審議は次回へ持ち越されることになった。

2）　移動業務と固定業務に分配されている周波数帯の確認

　ANNEX 4にはカナダ、フランス、ロシアからの提案による現行の周波数帯の分配状況が表形式で整理されているが、周波数分配はあくまでRR第5条が司るものであり、これには多数の脚注が記載されていることもあり、一概に単純な表に整理することは誤解を招く、としてスウェーデンが強く反対した。これに対し、参考までに現状を簡潔に整理することは有用であるとカナダ、フランス、ロシアが主張し、最終的には本文書の冒頭に、本文書内の分配表はRR　第5条を正確に反映していないかもしれないため、継続した検証・審議が必要である点を明記することで合意された。

3）　本報告書の位置づけについて

　本報告書はCPMレポートを補完するという位置づけを踏まえ、まだ未完成ではあるものの、何らかの形でCPMレポートから参照される「Supplmentary Information」として発出するか、まだ、合意に至っていない箇所が多々あるためWP1B議長報告に添付し、来年以降も継続審議するか、の2案について議論された。会合開始直後には、カナダ、フランス、ドイツが一部だけでも完成させてCPMレポートから参照される文書とすることを希望していたが、会合中の進展があまりにも限定的であったため、最終的には文書の発出に固執した主管庁はなく、SG1へは上程はせず、議長報告に添付することで合意された。

　一時は「各主管庁は議題1.2について検討する際に本報告書を考慮してもよい」という一文を文書の冒頭に加えることも検討されたが、スウェーデンの提案で削除された。このため、議題1.2との直接的な関連性は明記されない形で、作業文書は議長報告に添付されることとなった。

# 4　アドホック・グループ　（議長：Mr. Hasan Sharif（UAE））

# 4.1 WP1Bが所掌する各種文書の見直し

**入力文書：1B/277 (SG1 Chairman), 284(CHN), 287(KOR), 289(KOR)**

**290(UAE), 291(UAE), 292(UAE), 293(UAE)**

**出力文書：1B/TEMP/71, 72, 73, 74, 75, 76**

RAへの準備を進めるSG1議長からの要請に応じる形でWP1Bが所掌する文書（勧告、報告書、課題、ハンドブック、決議）の見直しを目的としてアドホック・グループが設置され、UAEのSharif氏が議長を務めた。

審議の結果、2つの勧告（ITU-R SM.667とITU-R SM.1048）の削除と4つの勧告（ITU-R SM.668-1, ITU-R SM.855-1, ITU-R SM.1046-2, ITU-R SM.1131）のエディトリアル修正を求める文書（TEMP/75）が承認され、SG1に上程された。

その他の主な審議結果は以下の通りである。

* UAEの提案による以下の3件の勧告の修正については次回、継続審議が必要とされた。（TEMP/71, 72, 73）
* ITU R SM.1047-1（国内周波数管理）
* ITU-R SM.1603（国内周波数管理の一手法としての周波数の再配置）
* ITU-R SM.1370-1（高度な自動周波数管理システム開発のための設計ガイドライン）
* 「国内周波数管理」ハンドブックの改訂についてはコレスポンデンス・グループ（CG）の設置について合意され、ToRが承認された（TEMP/74）。なお、本CGの議長はアドホック・グループ議長のSharif氏が務めることになった。
* WP1Bが所掌する勧告、報告書、課題、ハンドブック、決議の見直し結果についてはTEMP/76にまとめられた。この中から課題の削除と延長に関する箇所について情報が抽出され、SG1に入力されることになった。

# 次回のWP1Aについて

## 開催時期及び場所

2012年6月6～13日　スイス（ジュネーブ）

**入力文書**

| 文書 番号  (1B/##) | 提出元 | 表題 | |
| --- | --- | --- | --- |
| 268 | WP 1A | Liaison statement to the International Maritime Organization (IMO) for consideration at the sixth session of the Joint IMO/ITU Experts Group meeting and the eighty-eighth session of the Maritime Safety Committee (MSC 88) (Copy to Working Parties 1B and 5B for information) - Draft IMO position on WRC-12 Agenda items concerning matters relating to maritime services | IMO/ITU共同専門家グループ第6回会合およびMSC第88回に関におけるIMOへのリエゾン文書 – 海上業務に関連するWRC-12議題におけるIMOの見解案 |
| 269 | International Maritime Organization | Outcome of the sixth meeting of the joint IMO/ITU Experts Group on maritime radiocommunication matters | 海上無線通信に関連したIMO/ITU共同専門家グループ第6回会合の報告 |
| 270 | WP 6A | Liaison statement to ITU-R Study Groups - Methodology for calculation of maximum [PERMISSIBLE] power flux-density limits for the protection of digital terrestrial television broadcasting services from interference generated by mobile services including IMT systems where identified in the Radio Regulations | ITU-R SGへのリエゾン文書 – RRに規定されたIMTシステムを含む移動業務による地上デジタル放送業務への妨害保護のための電力束密度制限の最大値の測定方法 |
| 271 | WP 5C | (ドキュメント削除) |  |
| 272 | ITU-T JCA-NID | Reply liaison statement on ITU-R involvement in JCA-NID with regard to studies on Short Range Devices (SRDs), which include RFIDs | RFIDを含めた短距離機器に関するJCA-NIDの研究へのITU-R関与に関するリエゾン文書の回答 |
| 273 | Chairman,  WP 5C | Note to Chairmen of Working Parties 1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Consideration of draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 | 勧告ITU-R F.758-4の改定案に関してWP1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7Cおよび7D議長への文書 |
| 274 | France | CEPT common views on preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD] - Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices (SRDs) | 短距離無線機器向けの地域/グローバル周波数帯に関連した暫定新勧告案ITU-R SM.（SRD）に関するCEPTの共通見解 |
| 275 | China | Proposed revisions to working document towards draft new Recommendation ITU-R SM.[SRDs] - Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices (SRDs) | 短距離無線機器向けの地域/グローバル周波数帯に関連した暫定新勧告案ITU-R SM.(SRDs)の作業文書に向けた改定提案 |
| 276 | Chairman,　SG1 | Review of ITU-R Handbooks | ITU-Rハンドブックの見直し |
| 277 | Chairman,　SG1 | Review of ITU-R Resolutions | ITU-R決議の見直し |
| 278 | ITU-T　SG5 | Appointment of the Liaison Rapporteur | リエゾンラポータの任命 |
| 279 | Germany | Proposal regarding the update of Report ITU-R SM.2153-1 - Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range devices | 報告書ITU-R SM.2153のアップデートに関する提案 - SRDの技術的、運用パラメータと周波数要求条件 |
| 280 | WMO | Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices - Proposed revision to PDNR ITU-R SM.[SRD] | 短距離無線機器向けの地域/グローバル周波数帯に関連したPDNR ITU-R SM.(SRD)の改定案 |
| 281 | Finland, Sweden, Portugal, Netherlands, Italy , Germany, France | Proposed draft ITU-R Resolution on studies on the implementation and use of cognitive radio systems (CRS) - In relation to WRC-12 Agenda item 1.19 | WRC-12議題1.19に係るコグニティブ無線システムの導入と利用に関するITU-R決議暫定案 |
| 282 | United States of America | Information paper on the U.S. Federal Communications Commission's order on TV white space device database managers and related developments | ホワイトスペース機器（WSD）データベースの管理および関連する発展に関する米国連邦通信委員会の法令に関連する文書 |
| 283 | United States of America | Working document towards a preliminary draft new Report: ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.2] on enhancing the International Regulatory Framework in relation to WRC-12 Agenda item 1.2 | WRC-12議題1.2に係る国際的な周波数管理枠組み強化に関する暫定新報告書案ITU-R SM. （WRC-12議題1.2）に向けた作業文書 |
| 284 | China | Draft revision to Table 1 of Annex 11 to Document 1B/267. | 文書1B/267 附属書第11号の表1の修正案 |
| 285 | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland | Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD) | 無線通信データ辞書に関連する勧告ITU-R SM.1413-2の暫定改定案 |
| 286 | CISPR | Liaison to ITU-R on protection of radio services | 無線業務保護に関するITU-Rへのリエゾン文書 |
| 287 | Korea | Status and comments on the ITU-R Questions, Recommendations and Reports assigned to the Study Group 1 | ITU-R勧告、報告書、課題のSG1担当箇所に関する状況とコメント |
| 288 | Korea | Proposed modifications to the preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD] - Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices (SRDs) | 短距離無線機器向けの地域/グローバル周波数帯に関連した暫定新勧告ITU-R SM.(SRDs)に向けた修正案 |
| 289 | Korea | Proposed suppression of two Recommendations and proposed editorial update of five Recommendations | 2つの勧告の削除提案と5つの勧告の編集修正案 |
| 290 | United Arab Emirates | Proposal for the revision of ITU-R Handbook - National spectrum management | 国家周波数管理に関連したITU-Rハンドブックの改定提案 |
| 291 | United Arab Emirates | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1603 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management | 国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する勧告ITU-R SM.1603の改定案 |
| 292 | United Arab Emirates | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1047-1 - National spectrum management | 国家周波数管理に関する勧告ITU-R SM.1047-1の改定案 |
| 293 | United Arab Emirates | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1370-1 - Design guidelines for developing advanced automated spectrum management systems | 先進的な自動周波数管理システムを発展させるためのガイドライン策定に関する勧告ITU-R SM.1370-1の改定案 |
| 294 | Bahrain, United Arab Emirates , Saudi Arabia , Lebanon | Proposed modifications to the preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD] - Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices (SRDs) | 短距離無線機器向けの地域/グローバル周波数帯に関連した暫定新勧告案ITU-R SM.(SRD)に向けた修正案 |
| 295 | CBS | Comments on information paper | 情報文書に関するコメント |
| 296 | Canada | Proposed completion of the draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.2] | WRC-12議題1.2に関する暫定新報告書案ITU-R SM（WRC-12議題1.2）の完了提案 |
| 297 | Canada | Proposed modifications to the preliminary draft new Resolution ITU-R [CRS] - Studies on the implementation and use of cognitive radio systems (CRS) | コグニティブ無線システムの導入と利用に関連する研究に関する暫定新決議案ITU-R (CRS)の修正案 |
| 298 | Russia | Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the international regulatory framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2 | WRC-12議題1.2に係る国際的な周波数管理枠組み強化に関する暫定新報告書案に向けた作業文書の修正案 |
| 299 | Japan | Proposed modification to preliminary draft new Resolution ITU-R [CRS] - Studies on the implementation and use of cognitive radio systems (CRS) | コグニティブ無線システムの導入と利用に関連する研究に関する暫定新決議案ITU-R (CRS)の修正案 |
| 300 | France | Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.2] on enhancing the international regulatory framework in relation to WRC-12 Agenda item 1.2 | WRC-12議題1.2に係る国際的な周波数管理枠組み強化に関する暫定新報告書案ITU-R SM. （WRC-12議題1.2）に向けた作業文書 |
| 301 | Canada | Proposed revisions to preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID] - Technical characteristics, standards and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities | RFIDの技術的な特徴、標準、運用周波数帯とハーモナイゼーションの可能性に関する暫定新報告書案ITU-R SM.(RFID)に向けた改定案 |
| 302 | AsiaSat | Views on WRC-12 Agenda item 1.2 | WRC-12議題1.2における見解 |
| 303 | IEEE | Wireless telecommunication standards under development by IEEE 802 containing cognitive radio capabilities for operation in the TV White Space | ホワイトスペースにおけるコグニティブ無線の運用を含めたIEEE802による無線通信規格 |

**出力文書**

| 文書  番号  (1B/TEMP/##) | 表題 | | 備考  （提出元） |
| --- | --- | --- | --- |
| 70 | [Preliminary] draft new Resolution ITU-R [CRS] - Studies on the implementation and use of cognitive radio systems (CRS) | コグニティブ無線の導入と利用に関する暫定新決議案ITU-R(CRS) | WP1B |
| 71 | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1047-1 - National spectrum management | 国家周波数管理に関する勧告ITU-R SM.1047-1の改定案 | WP 1B (WG 1B Ad-hoc) |
| 72 | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1603 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management | 国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する勧告ITU-R SM.1603の改定案 | WP 1B (WG 1B Ad-hoc) |
| 73 | Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1370-1 - Design guidelines for developing advanced automated spectrum management systems | 先進的な自動周波数管理システムの発展のためのガイドライン策定に関する勧告ITU-R SM.1370-1の改定案 | WP 1B (WG 1B Ad-hoc) |
| 74 | Terms of reference for the [Rapporteur/Correspondence] Group on revision of ITU Handbook on "National spectrum management" | 国家周波数管理に関連するITU-Rハンドブックの改定に関するラポータ/コレスポンデンスグループのToR | WP 1B (WG 1B Ad-hoc) |
| 75 | Proposed suppression of two Recommendations and proposed editorial update of four Recommendations | 2つの勧告の削除提案と4 つの勧告の編集修正案 | WP 1B (WG 1B Ad-hoc) |
| 76 | Review of ITU-R Recommendations, Reports, Questions, Handbook and ITU-R Resolutions assigned to WP 1B | ITU-R勧告、報告書、課題のWP1B担当箇所の見直し | WP 1B (WG 1B Ad-hoc) |
| 77 | Draft revision of Report ITU-R SM.2153-1 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices | SRDの技術的、運用パラメータと周波数要求条件に関する報告書ITU-R SM.2153の改定案 | WP1B |
| 78 | Correspondence Group on the development on a draft Report on spectrum management and monitoring during major events - Terms of reference | 大規模なイベント時の周波数管理および監視に関する報告書案に関するコレスポンデス・グループ | Chairmen, WPs 1B & 1C |
| 79 | Draft reply liaison statement from SG 1 to Sub-Committee H of CISPR (copy to Working Parties 1A, SG 4, WP 5A, WP 5B, WP 5C, 5D, SG 6, SG 7 for information) - Limits for the protection of radio services | 無線業務保護の制限に関するSG1からCISPRサブ委員会Hに向けたリエゾン文書の回答案 | WP1A |
| 80 | Draft liaison statement on a database for the protection of radio services | 無線業務保護のためのデータベースに関するリエゾン文書案 | WP1A |
| 81 | Draft reply liaison statement from ITU-R Study Group 1 to ITU-T Study Group 15 regarding G.WNB, narrowband wireless home networking | G.WNB に関するSG1からITU-T SG15へのリエゾン文書の回答案 | WP1B |
| 82 | Reply liaison statement to ITU-T JCA-IOT on ITU-R involvement in JCA-IOT with regard to studies on Short Range Devices (SRDs) which include RFIDs | RFIDを含めた短距離無線機器のJCA-IOT の研究に関連するITU-Rの関与に関するITU-T JCA-IOTへのリエゾン文書の回答 | WP1B |
| 83 | Preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID] - Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities | RFIDの技術的な特徴、標準、運用周波数帯とハーモナイゼーションの可能性に関する暫定新報告書案ITU-R SM.(RFID) | WP1B |
| 84 | Correspondence Group on narrowband wireless home networking - Terms of Reference | G.WNBに関するコレスポンデンスグループのToR | Chairman, WP 1B |
| 85 | Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD] - Frequency ranges for global or regional harmonisation of short-range devices (SRDs) | SRDsグローバル/地域ハーモナイゼーション周波数範囲に関する暫定新勧告案ITU-R SM.(SRD) | WP 1B (WG 1B-1) |
| 86 | Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RES. 951] Studies on enhancing the international regulatory framework in relation to Resolution 951 (Rev.WRC-07) | 決議951に関連する国際的な周波数管理枠組みに関する暫定新報告書ITU-R SM(RES. 951)に向けた作業文書 | WP 1B (SWG 1B3) |